

「地域審議会」の対応を問う



林 弘 議員

問 平成20年度の高島市地域審議会は、計5日間、7回にわたって開催された。今回の地域審議会への市長による諮問事項は、地域活性化基金から3億円を一般会計に繰り入れ、その中から1億円を地域自治組織推進事業に、2億円を公共交通対策事業に活用することへの諮問である。高島市



地域審議会の模様

念された。総合結果は「異議なし」の答申であったが、今後の対応を問う。

答 総務部長
ご意見を生かしてまいります

今回、地域活性化基金の活用について、地域審議会に諮問し、ご理解を賜りましたが、特に2つの地域審議会からは、コミュニティバス事業について、利便性、効率性の向上や経費縮減にかかる付帯意見をいただきました。これらの課題に対応すべく検討を進めてまいります。なお、地域活性化基金の活用に関し、諮問した2事業で、来年度以降も活用する場合は、地域審議会に事前報告するとともに、それ以外の事業で活用する場合は、改めて諮問させていただきます。

市営住宅の入居選考は公平・公正か



大塚 泰雄 議員

問 プライバシーや個人情報保護など困難な諸条件があるため、選考経過等すべての内容を明らかにして説明できないとするなら、申し込み資格や要件を満たした申込者の住宅困窮度合いが、ほぼ同レベルである場合は、選考委員の一方的な主観による投票などで安易に決定するのではなく、すべて抽選で決定する手法を取らなければ、理解・納得が得られないと思うがどうか。

答 土木交通部次長
困窮度を基本に公正な選考に努めます

入居申込者の住宅困窮度合いがほぼ同レベルの場合の選考において、抽選方法を採用し

た場合、公平性を示すことができる反面、個々の困窮度を的確に反映することができないと考えられるため、より困窮度の高い申込者に入居していただくためにも、今後も選考委員会による判定方法を継続し、より公平、公正な審査に努めてまいります。

問 バス等の交通体系整備はその後どうなっているのか。

答 コミュニティバスは依然として多額の経費をかけて空気ばかりを運んでいる。市公共バス対策協議会の改善案はまとまったのか。一刻も早く住民代表や事業者の労使双方と福祉



※諮問……有識者または一定機関に意見を求めること

高島市全域の確認について

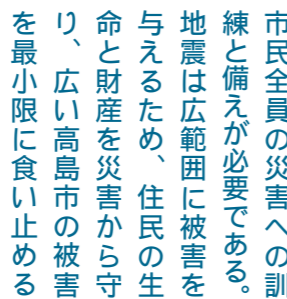


大森 六己 議員

問 四川省で大規模な地震が起き、日本でも6月に岩手宮城内陸地震が発生。地震の怖さを強く感じ、我が高島市でも余所事ではない、市民全員の災害への訓練と備えが必要である。地震は広範囲に被害を与えるため、住民の生命と財産を災害から守り、広い高島市の被害を最小限に食い止める

答 防災監

土砂災害等の危険箇所については土木交通部と連携し確認するとともに、道路カルテや地震ハザードマップ作成時の基礎データ資料等、防災情報についても共有に努めています。19ヶ所の確認は平成18年度は地上から、19年度は上空から行いました。今後も災害時の情報伝達・連絡体制の強化を図り、災害種別に応じた訓練などに取り組んでまいります。



高島市 地震ハザードマップ

問 獣害は0に近づけるか

獣害は年々増し、昼

夜を問わず田畑へ入り、平然として食い荒らす獣。近年、繁殖増となり、今の捕獲や駆除法では生息数の減退は見込めない。また、子どもや老人に危害を加え、夜は道路に現れ自動車事故も多発。山間地田畑が獣の餌場とならないように、獣害が0に近づけられる対策を問う。

答 産業循環政策部長
集落での取組を推進します

集落ごとに鳥獣害捕獲隊を結成していただき、集落代表者に有害駆除許可を出す等の取組みにより、身近な被害を軽減させます。また、人間にとって不要な物(ひこばえ(二番穂)や放置された渋柿など)は、獣にとって格好の餌となるので、餌付け行為にならないよう、それらの排除を進めます。

施策としての外出支援サービス面も併せて協議して改善案を示せ。

答 土木交通部次長
効率的で利便性の高い交通体系を模索します

合併以来3回、高島市バス対策協議会を開催し、運行経路の変更や運賃の均一化等に取り組んでまいりました。しかし、一方で、多額の財政負担が生じていることから、より効率的で利便性の高い、当市にふさわしい交通体系を模索してまいります。

高島市将来の住みよさをどうして



清水日出夫 議員

問 全国782の市の「住みよさランキング」(東洋経済新報社の都市データパック)によると、高島市はかなり低位にランク付けされており、県下13市の中では最下位である。財政力指数から推しても、ますます行政格差を懸念する。県、国に対し今こそ格差是正措置を講ずるよう、しっかりと、もの申す姿勢が大事ではないか。

答 市長
市民皆様の満足度の高いまちづくりに取り組みます

居住する街の「住みよさ」は人それぞれに異なり、社会経済指標だけでは計りきれないものです。私は、常



設の整備を検討された。い。

答 産業循環政策部長
ペットの火葬場の整備について

多数のペットが飼育されているにも関わらず、市内に死骸処理をする施設がない現状であります。将来的には施設が必要と考えますので検討してまいります。いと考えます。

問 各家庭から搬出される資源ごみが第三者によって持ち出されるケースが各地域で続発している。適正管理されたい。

答 市内各地で事例が発生していますので「持ち去り禁止」の看板を設置いたしました。職員によるパトロールを実施するなど、さらに防止対策を図ってまいります。